

2018 (H30) 年度 決算状況

単位：百万円

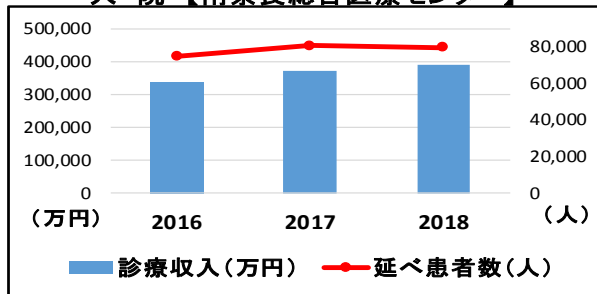
項 目	2017年度決算				2018年度決算					
	企業団 (計)	南奈良総合 医療センター	吉野病院	五條病院	企業団 (計)	南奈良総合 医療センター	吉野病院	五條病院	対前年比較	
収入	経常収益	8,959	7,300	1,232	427	9,741	7,762	1,211	768	782
	医業収益	7,465	5,942	1,166	357	8,075	6,326	1,146	603	610
	医業外収益	1,494	1,358	66	70	1,666	1,436	65	165	172
支出	経常費用	9,228	7,383	1,117	728	9,814	7,766	1,128	920	586
	医業費用	9,023	7,178	1,117	728	9,591	7,543	1,128	920	568
	医業外費用	205	205	0	0	223	223	0	0	18
経常損益 (A)		△ 269	△ 83	115	△ 301	△ 73	△ 4	83	△ 152	196
特別損失 (B)		4	4	0	0	8	8	0	0	4
純損益 (A - B)		△ 273	△ 87	115	△ 301	△ 81	△ 12	83	△ 152	192

※看護師養成事業を含む

- 企業団の2018年度の純損益は、8千1百万円の赤字となっていますが、2017年度より1億9千2百万円改善しています。
- 病院別の純損益は、吉野病院が2017年度に引き続き黒字となっています。南奈良総合医療センター及び五條病院は赤字となっていますが、それぞれ7千5百万円、1億4千9百万円改善しています。
- 医業収益は、南奈良総合医療センターでの入院診療単価のアップ及び外来患者の増加、五條病院での療養病棟の運用開始による入院患者の増加等により、2017年度より6億1千万円の増加となっています。
- 医業費用は、診療収入に連動した材料費の増、五條病院療養病棟の運用開始など職員の増加に伴う職員給与費の増等により、企業団全体で2017年度より5億6千8百万円の増加となっています。

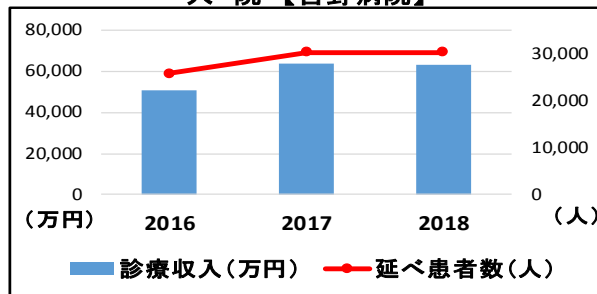
## 2018 (H30) 年度 稼働状況

### 入院【南奈良総合医療センター】



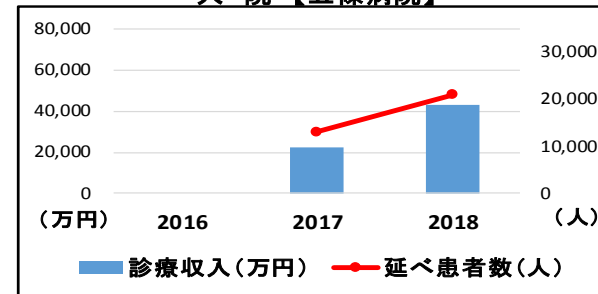
南奈良総合医療センター	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	75,199	80,621	79,609
1日平均患者数(人)	206	221	218
病床稼働率(人)	88.8%	95.2%	94.0%
診療収入(万円)	337,787	372,314	389,949
診療単価(円)	44,919	46,182	48,983

### 入院【吉野病院】



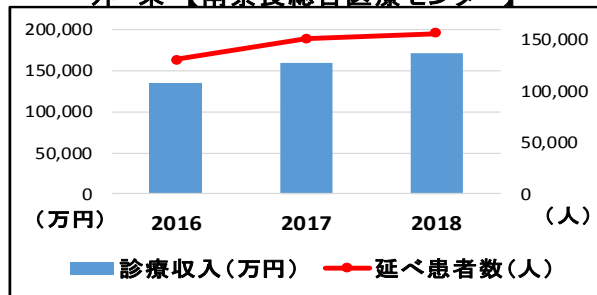
吉野病院	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	25,679	30,266	30,216
1日平均患者数(人)	70	83	83
病床稼働率(人)	73.3%	86.4%	86.2%
診療収入(万円)	50,647	63,432	63,237
診療単価(円)	19,723	20,958	20,928

### 入院【五條病院】



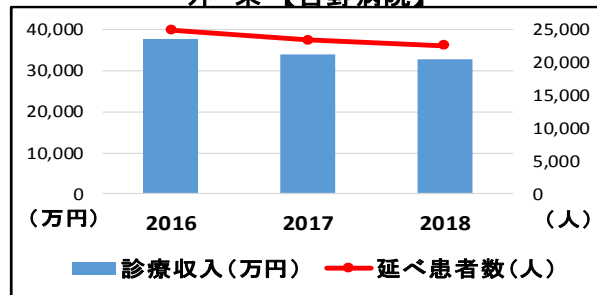
五條病院	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	13,118	20,986	20,986
1日平均患者数(人)	36	58	58
病床稼働率(人)	79.9%	85.2%	85.2%
診療収入(万円)	22,682	42,954	20,468
診療単価(円)	17,291	20,468	20,468

### 外来【南奈良総合医療センター】



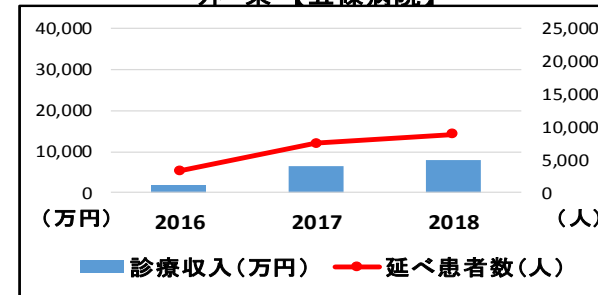
南奈良総合医療センター	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	130,660	150,686	156,019
1日平均患者数(人)	540	618	639
診療収入(万円)	134,024	159,701	171,080
診療単価(円)	10,257	10,598	10,965

### 外来【吉野病院】



吉野病院	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	24,896	23,326	22,502
1日平均患者数(人)	103	96	92
診療収入(万円)	37,549	33,846	32,868
診療単価(円)	15,082	14,510	14,607

### 外来【五條病院】



五條病院	2016	2017	2018
延べ患者数(人)	3,336	7,497	8,918
1日平均患者数(人)	14	31	37
診療収入(万円)	1,831	6,393	7,924
診療単価(円)	5,488	8,527	8,885

- 南奈良総合医療センターの平均病床稼働率は、94.0%と高稼働率を維持、1日平均外来患者数は639人と、平成29年度と比べ、延べ入院患者数は1.3%減、延べ外来患者数は3.5%増となっています。
- 吉野病院は、平均病床稼働率 86.2%、1日平均外来患者数 92人と、平成29年度と比べ、延べ入院患者数は0.2%減、延べ外来患者数は、3.5%減となっています。
- 五條病院は、療養病棟の運用開始もあり、入院患者数は大幅に増加しており、平均病床稼働率 85.2%、1日平均外来患者数 37人と、平成29年度と比べ、延べ入院患者数は60.0%増、延べ外来患者数は19.0%増となっています。

## 1 経営の安定化

### ①純損益赤字の解消

- ◆ 純損益赤字8千1百万円を解消するため、企業団全職員が常に経営状況を把握し、経営に関する意識を高め、病院経営に取り組む

### ②収益の確保

#### <南奈良総合医療センター>

- ◆ 平均在院日数の短縮(13.0日以内)
  - 入院前から患者支援を行い、早期に退院・転院調整を図る
    - ・ 吉野、五條病院への転院促進
    - ・ 地域の医療機関等との連携強化
- ◆ 新入院患者の確保
  - 病診連携の強化、専門診療の情報発信の充実などによる紹介患者(予定入院)の増加を図る
- ◆ 手術室の効率的な運用による手術件数の増加

#### <吉野・五條病院>

- ◆ 病床稼働率の向上
  - 南奈良総合医療センターからの受入促進
  - 介護施設等との連携による施設からの入院患者の増加
- ◆ 外来患者の確保
  - 皮膚科外来診療の開始(五條病院)
  - 南奈良総合医療センター及び近隣医療機関との連携強化

### ③費用の適正化

#### <働き方改革の推進>

- ◆ 院内におけるサポート体制の充実(医師事務作業補助等)

#### <コスト削減に向けた業務改善チームの設置>

- ◆ 業務内容の精査による経費の削減
- ◆ タスク・シフティング(業務の移管)やタスク・シェアリング(業務の共同化)などの取組を推進

## 2 専門診療の充実

#### <南奈良総合医療センター>

- ◆ 救急患者の受入
  - 夜間帯での救急ベッドの確保と看護スタッフの充実等による救急患者受入体制の強化
  - 院内トリアージの強化
- ◆ がん診療
  - 肺がん、消化器がん(胃、大腸、肝臓、膵臓)、前立腺がん診療の強化、婦人科領域(乳がん、子宮がん)のがん診療の充実
    - ・ 外来化学療法の拡大
    - ・ がん検診における女性スタッフの対応
  - がん患者及びその家族に対するがん相談のためのスタッフの充実
- ◆ 認知症ケアの充実
  - もの忘れ・認知症外来の充実や病棟ラウンドなど
- ◆ 糖尿病などの生活習慣病診療の充実
  - 糖尿病性腎症重症化予防対策の推進
  - 糖尿病内科受診外来患者を対象として診察待ち時間を利用したフットチェックの実施
  - 糖尿病・CKD(慢性腎臓病)・高血圧チームによるチーム回診を実施
- ◆ 腎・尿路疾患センターの機能強化
  - 透析患者の確保に向け、病診連携を強化
- ◆ ロコモティブシンドローム(運動器症候群)対策の推進
  - 骨や筋肉、関節などの運動器の疾患患者に対して、リハビリテーション部と共同して、外来でロコモリハビリを開始
- ◆ 栄養サポートチーム
  - 早期退院、再入院の抑制に向けた栄養サポートの充実
    - ・ 入院前から退院後まで切れ目のなく栄養療法が行えるよう適切にチーム医療を実践
- ◆ 循環器サポートチーム
  - 心不全悪化を早期に発見し、早期受診につなげるシステム「心不全シグナル」を導入し、心不全患者をサポート
- ◆ 脳卒中の対応強化
  - 一次脳卒中センターの開設を見据えた脳卒中の対応を強化

#### <吉野病院>

- ◆ 入院患者の嚥下障害のリハビリテーションの強化

#### <五條病院>

- ◆ 緩和ケアの推進
- ◆ 在宅療養、難病患者などのレスパイト入院の促進

### 3 患者サービスの充実

#### <患者対応>

- ◆ 患者相談支援窓口の充実
  - スタッフが常駐して相談対応
    - ・入院前からの患者支援、各種相談の対応
- ◆ がん相談におけるスタッフの充実
- ◆ 検査予約待ち日数の短縮
  - MRI検査の待ち日数短縮
  - 検査業務の体制見直しによる脳波検査の待ち日数短縮
- ◆ 接遇の向上
  - 全職員を対象にホスピタリティ研修を実施
- ◆ 院内案内サインの充実
  - 診察場所へのわかりやすい誘導及び表示方法を適宜検討し、改善

#### <健康診断の充実>

- ◆ 人間ドックの充実
  - 検査実施体制の見直しの検討
- ◆ 女性対象の検診
  - マンモグラフィ等検査における女性スタッフによる検診の実施
- ◆ 脳ドックにおける検査項目の充実
  - 認知症検査の追加
  - MRI画像を使って脳の萎縮度を見る検査(早期アルツハイマー型認知症診断支援が可能)の追加

#### <健康に関する情報発信>

- ◆ 健康フェスティバル2019の開催(11月10日開催予定)
- ◆ 健康出前講座等への職員派遣

### 4 人材の育成

#### <研修医等の受入>

- ◆ 研修医等の受入
  - 南和まるごと研修の開始
    - ・南和地域の特性を活かして、急性期から回復期、慢性期、在宅・地域包括ケアシステムに至るまで一貫して経験できるフィールドを提供し、全部門職員が一丸となってサポート
  - 受入予定
    - 臨床研修 4名(基幹型 2名 協力型 2名)
    - 専門医研修 6名(基幹型 1名 協力型 5名)、医学生の実習

#### <在宅医療を担う看護師の育成>

- ◆ 訪問看護の充実・強化に向けて訪問看護師を育成
  - 専門資格の取得、外部研修
- ◆ へき地医療支援看護師の配置に向けた看護師育成の検討

#### <病院マネジメント研修の実施>

- ◆ 幹部職員及び将来を担う中堅職員を対象としたマネジメント研修を実施

#### <地域人材の育成>

- ◆ 地域の訪問看護師、保健師、コミュニティナース、ケアマネジャー等を対象に在宅医療等に関する研修の実施
- ◆ 大淀高校との連携
  - インターシップの受入、大淀高校への出前授業
  - 大淀高校生の健康フェスティバルへの参加など

#### <看護専門学校における人材の育成>

- ◆ 看護専門学校におけるへき地教育の充実
- ◆ 南和地域の医療に貢献する意欲のある者を対象に、学校長推薦地域枠入学試験を創設

## 5 在宅医療の充実

### 『南和地域における地域包括ケアシステム構築に向けた在宅医療・介護連携の推進』

南和地域において、高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、企業団、構成団体及び県が連携し、南和地域に相応しい地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療・介護連携の取り組みを推進

#### 2019年度からの企業団の取組

##### 訪問看護の充実・強化

###### 24時間365日対応できる訪問看護ステーションの設置

- ◇ 24時間365日対応のための体制、開設時の管轄範囲の検討
- ◇ 体制、設置場所の整備
- ◇ 運用財源の検討、確保
- ◇ 開設申請手続き
- ◇ 南和地域がカバーできる訪問看護体制の検討
- ◇ より質の高い訪問看護を提供する機能強化型訪問看護ステーションへの移行検討、準備

###### 地域の訪問看護ステーションとの連携、支援による訪問看護の充実

- ◇ 地域の病院・診療所、訪問看護ステーション、ケアマネジャー等との相互連携体制の検討、体制構築
- ◇ 地域の医療機関や訪問看護ステーション等を対象とした研修会の実施
- ◇ 地域の訪問看護ステーション等に対する訪問看護に関する情報提供や相談の実施

###### 訪問看護師、ケアマネジャーの育成

- ◇ 訪問看護認定看護師、在宅看護専門看護師等、専門看護師資格の取得の支援
- ◇ 訪問看護ステーションでの実務研修(3名)等、外部研修の実施

##### 在宅医療の支援強化

###### 在宅療養支援病院の機能強化

- ◇ 在宅医療の充実に向け、訪問診療を拡大

###### へき地診療所の機能強化

- ◇ へき地診療所による訪問診療、訪問看護等の診療機能の強化
- ◇ 巡回等により専門医による定期的な医療提供ができる体制の検討
- ◇ ICTの活用などによるへき地診療所医師、看護師に対する支援の強化

###### へき地医療支援看護師の配置

- ◇ へき地診療所に勤務する看護師が不在となった場合における看護師派遣システムの構築

###### 地域の医療・介護人材との連携

- ◇ 地域の保健師、ケアマネジャー、行政職員、コミュニティナースと連携した日常生活支援体制の検討

##### 地域人材の育成(医療・介護連携)

###### 地域の訪問看護師、保健師、コミュニティナース、ケアマネジャー等の人材育成

- ◇ 在宅医療等の研修会の実施
- ◇ 顔の見える関係づくりの強化
- ◇ 医療面でのサポートを通して、地域の訪問看護師、コミュニティナース、ケアマネジャー等が相互に協力できるネットワークづくり